

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響などから悪化している。

最終需要の動向をみると、公共投資は増加基調を維持しているほか、設備投資は底堅い動きとなっている。一方、住宅投資は弱めの動きが続いているほか、個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響から悪化している。

こうした中、生産は弱含んでいる。雇用・所得環境は一部に弱めの動きがみられ始めている。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を下回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資 …… 増加基調

4月の公共工事請負金額は、国などが増加したものの、県、市町村などは減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲14.4%）が、増加基調を維持している。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2019年 6月	9月	12月	2020年 2月	3月	4月
山形県	75.9	13.2	18.6	2.8倍	26.4	▲14.4

〈資料〉東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資 …… 底堅い動き

3月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業などは増加したものの、卸・小売、医療・福祉などが減少したため、全体では前年を下回ったが、マイナス幅は縮小（前年比▲6.1%）。

こうした中、3月短観における2020年度の設備投資計画（全産業）は、製造業がけん引して2年ぶりに増加する計画（前年度比19.4%）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2019年 6月	9月	12月	2020年 1月	2月	3月
山形県	▲52.4	▲12.0	▲11.5	▲88.5	▲61.9	▲6.1

〈資料〉国土交通省

(図表3) 県内企業の設備投資額（2020年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2018年度(実績)	2019年度(計画)	2020年度(計画)
全産業	3.2	▲26.8< 2.8>	19.4
製造業	▲9.0	▲33.2<▲4.4>	33.5
非製造業	26.5	▲18.0< 12.5>	3.5

〈資料〉日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・新型コロナウイルス感染症の影響から悪化している

3月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、飲食料品が増加したものの、衣料品の減少などから、前年を下回った（前年比▲6.2%）。コンビニエンスストアは、外出者や学生の利用が減少し、前年を下回った。ドラッグストア、ホームセンターは、衛生用品や日用品などが増加したため、前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2019年 7~9月	10~12月	2020年 1~3月	2020年 1月	2月	3月
全店	0.2	▲2.3	▲4.0	▲3.9	▲1.4	▲6.2
既存店	▲0.1	▲1.5	0.1	▲3.3	3.7	0.6

＜資料＞経済産業省

4月の乗用車新車新規登録・届出台数は、外出自粛に伴う来店客数の減少などを受けて、前年を下回った（前年比▲30.0%）。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2019年 6月	9月	12月	2020年 2月	3月	4月
乗用車 合計	▲4.8	10.3	▲9.6	▲16.4	▲15.8	▲30.0
普通車	▲8.6	10.0	1.1	▲15.6	▲24.2	▲41.2
小型車	▲6.4	1.1	▲10.9	▲17.1	▲11.5	▲10.4
軽四輪	0.1	19.0	▲16.2	▲16.2	▲12.9	▲39.3

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費を中心に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている。

(4) 住宅投資・・・弱めの動き

3月の新設住宅着工戸数は、持家が増加したものの、貸家、分譲が減少したため、全体では前年を下回った（前年比▲19.5%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2019年 6月	9月	12月	2020年 1月	2月	3月
山形県	17.8	▲4.1	▲35.6	▲1.3	11.8	▲19.5
持家	▲3.6	▲25.4	▲17.9	▲18.0	18.8	6.8
貸家	▲24.3	▲1.6	▲41.7	78.4	19.7	▲47.9
分譲	4.2倍	2.2倍	▲51.1	▲14.0	▲20.8	▲44.9

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・弱含み

2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比2.1%）。業種別には、はん用・生産用・業務用機械、電気機械など11業種が低下したものの、化学、電子部品・デバイスなど10業種が上昇した。2月の在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比5.2%）。

この間、新型コロナウイルス感染症の影響がみられており、幅広い業種で不透明感が高まっている。

（図表7）鉱工業指数

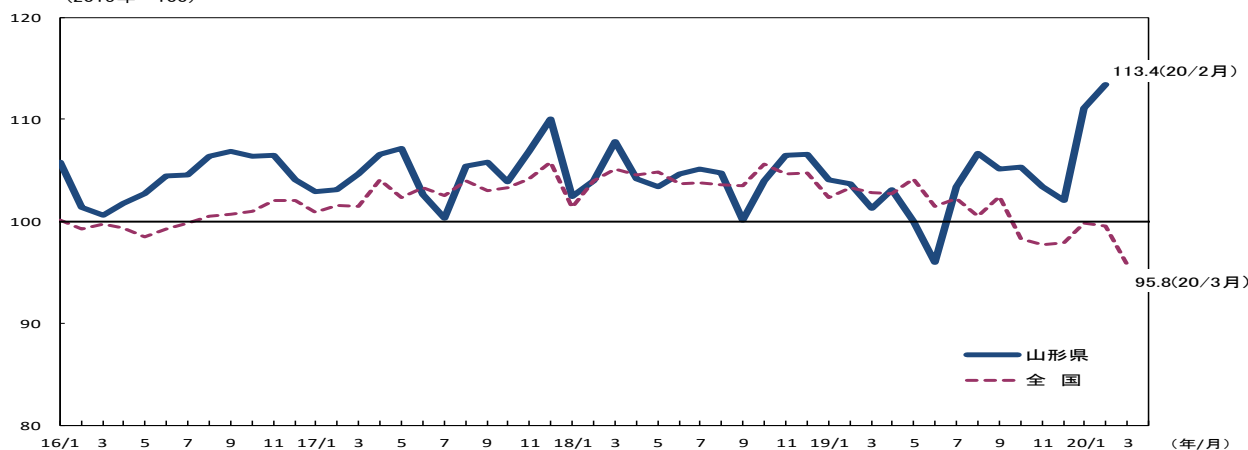
2015年基準

山形県		2019年 3月	6月	9月	2019年 12月	2020年 1月	2月
生 産	季節調整済前月比%	▲2.3	▲4.0	▲1.5	▲1.4	8.9	p 2.1
	原指数前年比%	▲7.7	▲9.8	6.9	▲0.5	6.7	p 2.1
在 庫	季節調整済前月比%	6.7	2.6	4.1	▲0.2	▲4.4	p 5.2
	原指数前年比%	7.1	2.0	6.8	4.2	2.3	p 9.4

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2015年=100）



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・一部に弱めの動きがみられ始めている

3月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.30倍となった。業種別の新規求人数は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、卸・小売、宿泊・飲食サービス、製造業などが減少した。3月の雇用保険受給者は、前年を上回った（前年比19.4%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2019年 7～9月	10～12月	2020年 1～3月	2020年 1月	2月	3月
有効求人倍率	1.50	1.48	1.34	1.37	1.35	1.30
完全失業率	1.6	1.9	n. a.	—	—	—
雇用保険受給者	〈8.1〉	〈11.7〉	〈19.4〉	〈13.4〉	〈13.8〉	〈19.4〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

2月の常用雇用指数は、引き続き前年を上回った（前年比0.1%）。業種別には、宿泊・飲食サービス、製造業、生活関連サービスなどは前年を下回ったものの、教育・学習支援、医療・福祉、運輸・郵便などは前年を上回った。

2月の所定外労働時間は、前年を上回った（前年比3.2%）。業種別には、製造業、金融・保険などは前年を下回ったものの、建設、生活関連サービス、宿泊・飲食サービスなどは前年を上回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 3月	6月	9月	2019年 12月	2020年 1月	2月
常用雇用指数	0.4	1.7	1.2	1.4	0.1	0.1
所定外労働時間	▲9.5	▲11.4	▲7.3	▲10.9	▲5.3	3.2

〈資料〉山形県

2月の現金給与総額（名目賃金指数）は、宿泊・飲食サービス、建設などは増加したものの、製造業、医療・福祉、生活関連サービスなどが減少したため、前年を下回った（前年比▲0.2%）。

2月のきまって支給する給与は、前年を下回った（前年比▲0.8%）。

(図表 11) 所得関係指標 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2019年 3月	6月	9月	2019年 12月	2020年 1月	2月
現金給与総額 (名目賃金指数)	▲2.4	▲1.9	0.7	3.6	▲2.0	▲0.2
きまって支給 する給与	▲1.5	▲1.2	0.9	1.5	▲1.8	▲0.8

〈資料〉山形県

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

4月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（2件）、負債総額（1.9億円）とも低水準（＜前年同月＞倒産件数2件、負債総額31.9億円）。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2019年 6月	9月	12月	2020年 2月	3月	4月
件数	5	6	6	2	1	2
負債総額	7.7	3.0	4.2	0.7	3.0	1.9

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を下回った

3月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、原油価格の下落に伴いエネルギー価格が前年を下回ったことなどから、全体でも前年を下回った(前年比▲0.1%)。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2019年 6月	9月	12月	2020年 1月	2月	3月
総合	0.8	0.2	1.0	0.9	0.5	0.1
生鮮食品を除く総合	0.5	0.2	0.9	0.8	0.3	▲0.1

<資料>山形県

7. 金融

2月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比1.6%)。一方、2月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を下回った(前年比▲0.3%)。

この間、2月の貸出金利は前月からわずかに低下した(前月比▲0.002%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2019年 3月	6月	9月	2019年 12月	2020年 1月	2月
実質預金+CD (末残前年比)	0.0	0.7	0.1	0.9	1.0	1.6
貸出金 (末残前年比)	▲0.1	▲0.8	▲1.1	▲1.0	▲1.0	▲0.3

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2019年 4~6月	7~9月	10~12月	2019年 12月	2020年 1月	2月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.004	▲0.010	▲0.003	▲0.003	▲0.001	▲0.002

2月末水準
0.997%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004